

大阪府景気観測調査結果

平成24年1～3月期

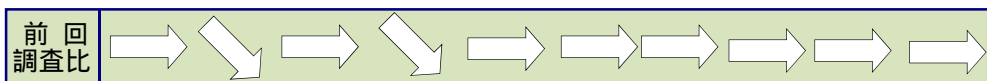
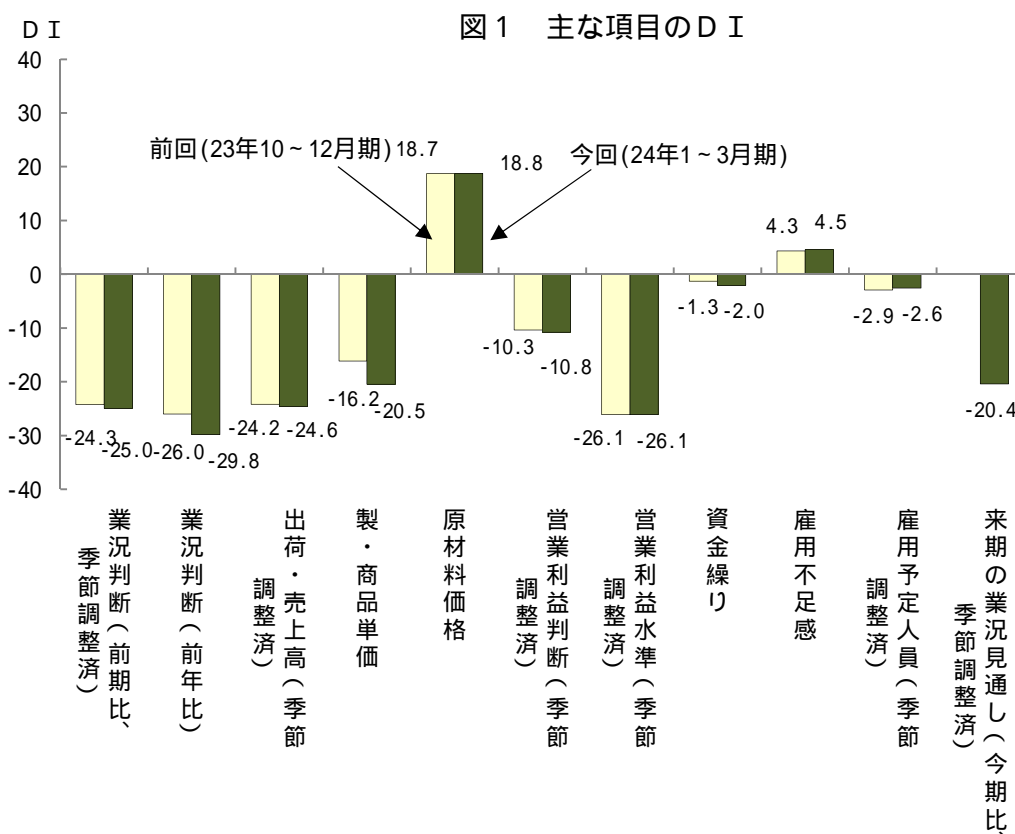
商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪府と協力して景気観測調査を実施しております。平成24年1～3月期の調査結果の概要は次のとおりです。

なお、大阪市景気観測調査結果については、大阪市経済局のウェブサイト

<http://www.city.osaka.lg.jp/keizaikyoku/page/0000002583.html> をご覧ください。

景気は持ち直しの動きが弱まっているが、来期は持ち直す見通し

業況判断DIは、大企業を除き、業種・規模別とも前期から横ばいで推移したが、来期の業況判断DIは、大企業が大きな改善を見込むなど、業種・規模別とも持ち直す見通しである。個々の指標では、非製造業で原材料価格が上昇する傾向がみられる一方、製・商品単価が下落し、今後、収益面への影響が懸念される。このほか、前期に比べると、営業利益判断及び水準、資金繰り、雇用、設備投資の各指標は、概ね横ばいで推移している。こうした現状をみると、景気は、中長期的には震災や円高等の影響から持ち直しつつあるものの、その動きは弱まっている。



調査結果に関するお問い合わせは 06-6210-9937
 商工労働部(大阪産業経済リサーチセンター)経済リサーチグループまで